

平成27年度第2回中央区自殺対策協議会 議事（要旨）

1 日時 平成28年2月17日（水） 午後7時～午後8時35分

2 場所 中央区保健所2階大会議室

3 出席者

【委員】

松本俊彦(委員長)、井上悟(副委員長)、岩重佳治、池田真人、宮崎舜賢、栗原正典、塙佳生、阿部円、前田宥全、蓮池秀夫、前田幸治(代理)、今村輝明(代理)、小山正治(代理)、佐藤幸喜(代理)、岩崎隆浩(代理)、市川和浩(代理)、黒川眞、長嶋育夫、中橋猛、坂田直昭

【事務局】

健康推進課長、予防係長、健康推進主査、他

(主な議題)

- 1 国、都からの報告事項について
- 2 各組織の役割シートについて
- 3 その他

[議事の経過]

1 国、都からの報告事項について

事務局より国、都からの報告事項についての報告があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

(事務局説明)

- 国の認識としては、全体的に自殺者数は減少傾向にあるものの、若年層（40歳未満）については減少幅が小さくとどまっている。
- 18歳以下は学校の長期休暇明けの9月上旬、4月上旬に増える傾向にある。

(委員からの意見)

- 若年層、特に児童生徒の自殺者数では、高校生が圧倒的に多いと感じている。原因では小学校段階では親との関係に悩み、中・高校生になると進路やいじめ等自殺の原因も複雑化している。
- 若者の自殺予防対応・方策として平時のコミュニケーション能力を高め余計なストレスを呼び込まないようかわりあいを持つ、学校、家庭、地域以外の居場所作り（第4空間）を大人が確保すること等が考えられる。
- 大人は、それまでの人生経験・社会経験がある分、悩みについて余裕を持って対応できるが、子どもは経験がない分、余裕がなく対応力に欠けている点も若者の自殺対策を考える上で大切である。

○どこで若者の精神構造や置かれた状況を認識し、あるいは若者に対するメッセージを発信していくのが課題であると思う。

2 各組織の役割シートについて

事務局より各組織の役割シートについて報告があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

(事務局説明)

○関係機関・部署ごとの役割と取組計画をシートにまとめた。今後も本協議会というネットワークを通じて自殺対策への取組みを進めていく。

(委員からの意見)

○役割シートは現実的で、各組織の役割・計画が明確に示されたものになっていると思う。

○インターネットでは、相談機関の事業者名・場所はわかるが、その機関が実際にどこにポイントを置いて相談対応しているのかが意外とわかりにくいと感じるので、その辺を工夫した見せ方ができると悩んでいる人がよりアクセスしやすくなると思う。

3 その他

二期目の任期中における協議会は終了した。